

令和7年度 第1回地球温暖化防止に貢献する ブルーカーボンの役割に関する検討会 議事概要

日時：令和7年8月12日(火)13:30～15:30
場所：ビジョンセンター新橋

【議事（1）ブルーカーボンの活用について】

環境省より地球温暖化対策計画について説明した。また、国土交通省よりブルーカーボン由来のカーボン・クレジットの活用について以下のように説明した。

「Jブルークレジットは、全国46件の活動がなされており、CO₂の吸収のみならず、環境保全や環境学習などのために様々な担い手が関わり沿岸域の活性化に寄与している。

引き続きJブルークレジットを通じて沿岸域の活動を支援する。

それに加えて、地球温暖化対策計画に記載のブルーカーボンのCO₂吸収・固定量に係る数値目標等の達成に向け、ブルーカーボン由来のカーボン・クレジットについて、国が制度を適切に管理できる仕組みを関係省庁が連携して検討を進める。」

委員より以下の意見をいただいた。

- ブルーカーボンの更なる普及のためには、活動が広がるような広報の仕組みを考える必要がある。
- 汽水域や海域など様々な部門が連携してブルーカーボンの取組を推進する必要がある。
- 沖合のブルーカーボンについては、未利用の海域の活用や、利用海域の複合利用をイメージするものであって、近い場所から取組むとよい。そのほうがコベネフィットも生まれやすい。
- 海を活用したクレジットは、地元中小企業にも大手企業にも使い勝手の良いクレジットが必要。

【議事（2）報告事項】

国土交通省よりブルーカーボンデータ計測マニュアルに関する報告、環境省より海洋資源を活用したCCUSに関する調査検討業務、温室効果ガスインベントリ2025について報告され、委員より以下の意見をいただいた。

- ブルーカーボンの計測マニュアルは、使う人が活用しやすい内容とし、普及環境を整える必要がある。
- 計測精度向上のためのデータ収集などは他分野とも連携して実施されることでコスト縮減、精度向上が期待できる。
- グリーンレーザーや衛星といった各計測手法の特性を活かした使い方を整理しておくとうい。

以上